Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX L22/L21

クールピクス L22/L21

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

はじめに

撮影の準備

簡単な撮影と再生
—らくらくオート撮影モードを使う

オート撮影モードで撮影する

シーンに合わせて撮影する

笑顔を撮影する（ベストフェイスモード）

再生機能を使いこなす

動画を撮影する/再生する

テレビやパソコン、プリンターに接続する

MENU 撮影、再生、セットアップ
メニューを使う

付録

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにすること

特に幼児･児童の首にストラップをかけないこと。
首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電池または専用ACアダプターを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること

病院で使うときは病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

電池を取る

プラグを抜く

長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因となることがあります。

禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときはただちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（アルカリ電池について）

警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険
（ニッケル水素充電池について）

使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-MH2は、COOLPIX用Ni-MH 電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX L22/COOLPIX L21 に対応しています

EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用のチャージャーを使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因になります。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告
（ニッケル水素充電池について）

警告	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと** **また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

注意
（ニッケル水素充電池について）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

安全上のご注意 ii

はじめに 1
- 使用説明書について 1
- ご確認ください 2
- 各部の名称 4
  - カメラ本体 4
  - 液晶モニターの表示内容 8
- 主なボタン操作とヘルプの使い方 10
  - （撮影モード）ボタン 10
  - （再生）ボタン 10
  - マルチセレクター 11
  - MENU（メニュー）ボタン 12
  - タブの切り換え方法 12
  - ヘルプの表示方法 13
  - シャッターボタンの半押しと全押し 13
  - ストラップの取り付け方 13

撮影の準備 14
- 電池を入れる 14
  - 使用できる電池について 14
  - 電源を ON/OFF するには 14
- 表示言語と日時を設定する 16
- SD カードを入れる 18
  - SD カードを取り出すときは 19

簡単な撮影と再生―らくらくオート撮影モードを使う 20
- ステップ 1　電源を ON にして （らくらくオート撮影）を選ぶ 20
  - （らくらくオート撮影）モードでの液晶モニター表示 21
- ステップ 2　カメラを構え、構図を決める 22
  - ズームを使う 23
- ステップ 3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す 24
- ステップ 4　撮影した画像を再生する / 削除する 26
  - 画像を再生する（再生モード） 26
  - 画像を削除する 26
- らくらくオート撮影モードについて 28

オート撮影モードで撮影する ... 29
オート撮影モードを使う ... 29
フラッシュを使う ... 30
セルフタイマーを使う ... 32
マクロ（接写）モードを使う ... 33
露出を補正する ... 34

シーンに合わせて撮影する ... 35
シーンモードを使う ... 35
シーンモードの設定方法 ... 35
シーンモードの種類と特徴 ... 36
料理モードを使った撮影方法 ... 43
パノラマアシストを使った撮影方法 ... 44

笑顔を撮影する（ベストフェイスモード） ... 46
ベストフェイスモードを使う ... 46

再生機能を使いこなす ... 48
複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示） ... 48
カレンダー表示 ... 49
画像を拡大表示する ... 50
画像を編集する ... 51
画像の暗い部分を明るく補正する（D- ライティング） ... 52
小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー） ... 53
画像の一部を切り抜く（トリミング） ... 54

🎥 動画を撮影する / 再生する......55
動画を撮影する......55
動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）......56
🎥 動画設定......56
動画を再生する......57
動画ファイルを削除する......57

テレビやパソコン、プリンターに接続する......58
テレビに接続する......58
パソコンに接続する......59
カメラとパソコンを接続する前に......59
カメラからパソコンに画像を転送する......60
プリンターに接続する......64
カメラとプリンターを接続する......65
1 コマだけプリントする......66
複数の画像をプリントする......67
プリントする画像や枚数を SD カードに設定する（プリント指定）......70

MENU 撮影、再生、セットアップメニューを使う 72
撮影に関する設定―撮影メニュー 72
撮影メニューの表示方法 73
画像モード 74
WB ホワイトバランス 76
連写 78
ピクチャーカラー 79
同時に設定できない機能 80
再生に関する設定―再生メニュー 81
再生メニューの表示方法 81
スライドショー 83
削除 84
カメラに関する基本設定―セットアップメニュー 85
セットアップメニューの表示方法 86
メニュー切り換え 87
オープニング画面 88
日時設定 89
モニター設定 92
DATE デート写し込み 94
電子式手ブレ補正 95
モーション検知 96
AF 補助光 97
操作音 98
オートパワーオフ 99
IN/ メモリー / カードの初期化（フォーマット） 100
言語 /Language 101
VIDEO ビデオ出力 101
目つぶり検出設定 102
設定クリアー 103
電池設定 105
プロテクト設定 106
画像回転 107
画像コピー 108
Ver. バージョン情報 109

付録 110
別売アクセサリー 110
推奨 SD カード 110
記録データのファイル名とフォルダー名 111
カメラのお手入れ方法 112
クリーニングについて 112
保管について 112
取り扱い上のご注意 113
カメラについて 113
電池について 114
警告メッセージ 116
故障かな？と思ったら 119
主な仕様 123
このカメラの準拠規格 127
索引 128
アフターサービスについて 134

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX L22/COOLPIX L21をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- 本書ではCOOLPIX L22、COOLPIX L21の製品名をL22、L21と表記している場合があります。
- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

- カメラのイラストは主にCOOLPIX L22を使っています。説明上必要な場合は、COOLPIX L21のイラストを併載しています。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録できます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（📖88）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

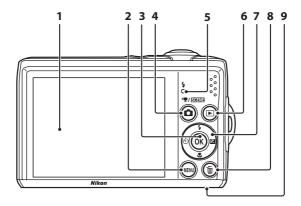
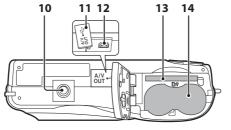
VCCI-B

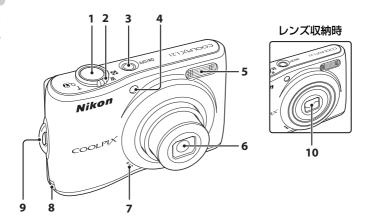
各部の名称

カメラ本体

COOLPIX L22前面

No.	名称	ページ
1	シャッターボタン	24
2	ズームレバー	23
	W：広角ズーム	23
	T：望遠ズーム	23
	⊞：サムネイル表示	48
	Q：拡大	50
	?：ヘルプ	13
3	電源スイッチ/電源ランプ	20、99
4	セルフタイマーランプ	32
	AF補助光	25、97
5	内蔵フラッシュ	30
6	レンズ	112、123
7	スピーカー	57
8	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）	110
9	ストラップ取り付け部	13
10	レンズバリアー	113
11	マイク	55

COOLPIX L22背面

1	液晶モニター 8
2	MENU（メニュー）ボタン ....12、56、73、81、86
3	®（決定）ボタン 11
4	◘（撮影モード）ボタン 10
5	フラッシュランプ 31
6	▶（再生）ボタン ....10、26
7	マルチセレクター 11
8	🗑（削除）ボタン ......26、27、57
9	電池/SDカードカバー ....14、18
10	三脚ネジ穴
11	端子カバー ....58、60、65
12	USB/オーディオビデオ出力端子 ....58、60、65
13	SDカードスロット 18
14	電池室 14

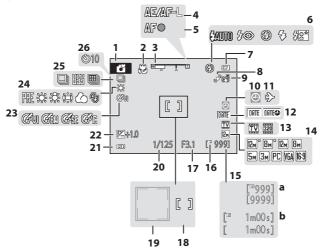
COOLPIX L21前面

1	シャッターボタン	24
2	ズームレバー	23
	W：広角ズーム	23
	T：望遠ズーム	23
	：サムネイル表示	48
	：拡大	50
	：ヘルプ	13
3	電源スイッチ/電源ランプ	20、99
4	セルフタイマーランプ	32
	AF補助光	25、97
5	内蔵フラッシュ	30
6	レンズ	112、123
7	マイク	55
8	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）	110
9	ストラップ取り付け部	13
10	レンズバリアー	113

COOLPIX L21背面

番号	名称	ページ
1	液晶モニター	8
2	MENU（メニュー）ボタン	12、56、73、81、86
3	OK（決定）ボタン	11
4	📷（撮影モード）ボタン	10
5	フラッシュランプ	31
6	▶（再生）ボタン	10、26
7	マルチセレクター	11
8	🗑（削除）ボタン	26、27、57
9	電池/SDカードカバー	14、18
10	スピーカー	57
11	三脚ネジ穴	
12	端子カバー	58、60、65
13	USB/オーディオビデオ出力端子	58、60、65
14	SDカードスロット	18
15	電池室	14

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。
撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（□92）。

撮影時

1	撮影モード※1 .... 20、29、35、46、55	13	動画設定 56
2	マクロモード 33	14	画像モード※2 74
3	ズーム表示 ....23、33	15	a 記録可能コマ数（静止画）......20 b 記録可能時間（動画）.............55
4	AE/AF-L表示 45	16	内蔵メモリー表示 21
5	AF表示 24	17	絞り値 24
6	フラッシュモード 30	18	AFエリア .... 22、24
7	バッテリーチェック 20	19	AFエリア（顔認識時）...... 22、24
8	モーション検知表示 ....21、96	20	シャッタースピード 24
9	電子式手ブレ補正 95	21	ISO感度表示 31
10	日時未設定 .... 89、116	22	露出補正値 34
11	訪問先 89	23	ピクチャーカラー 79
12	デート写し込み 94	24	ホワイトバランス 76
		25	連写モード 78
		26	セルフタイマー 32

※1 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。

※2 12M*、12MはL22、8M*はL21で表示されます。

再生時

1	撮影日 16	8	内蔵メモリー表示 26
2	撮影時刻 16	9	動画再生ガイド 57
3	音量表示 57	10	プリント指定表示 70
4	バッテリーチェック 20	11	スモールピクチャー 53
5	動画設定※ 56	12	D-ライティング済み表示 52
6	画像モード※ 74	13	プロテクト表示 106
7	a 画像の番号/全画像数 ....26 b 動画の再生時間 57	14	ファイル名 111

※ 撮影時の設定によって表示されるアイコンが異なります。12M*、12MはL22、8M*はL21で表示されます。

主なボタン操作とヘルプの使い方

（撮影モード）ボタン

- 再生モードでボタンを押すと、撮影モードになります。
- 撮影モードでボタンを押すと、「撮影モードメニュー」を表示して、撮影モードの切り換えができます。

撮影モードメニュー

マルチセレクター（11）を使って、以下の撮影モードを選べます。

① らくらくオート撮影（20）
② シーン（35）※
③ ベストフェイス（46）
④ 動画（55）
⑤ オート撮影（29）

※ 前回設定したモードによって、表示されるアイコンが異なります。

撮影モードメニューの表示中にボタンを押すと、撮影モードを切り換えずに撮影モードに戻ります。

（再生）ボタン

- 撮影モードでボタンを押すと、再生モードになります。
- 電源がOFFの状態でボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。

マルチセレクター

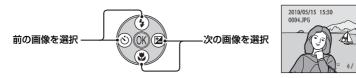
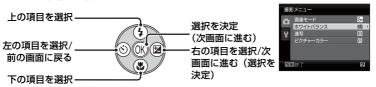
モードやメニューを選んで決定するときは、マルチセレクターを使います。上、下、左、右の部分、または🆗（決定）ボタンを押して操作します。

撮影時に使う

再生時に使う

メニュー画面で使う

✎ マルチセレクターの使い方の記載について

本書ではマルチセレクターの上、下、左、右の各操作部を▲、▼、◀、▶と表記する場合があります。

MENU（メニュー）ボタン

MENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューを表示します。

- 各メニュー項目を設定するには、マルチセレクターを使います（□11）。
- 左側のタブを選ぶと、選んだタブのメニューに切り換わります。
- メニュー表示を終了するには、もう一度MENUボタンを押します。

上タブ：使用中のモードで使えるメニューを表示
下タブ：セットアップメニューを表示

メニュー画面が2ページ以上あるとき

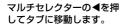
上にもメニュー項目があるとき

下にもメニュー項目があるとき

項目を選んでOKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定画面を表示します。

OKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定が確定します。

タブの切り換え方法

マルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、OKボタンまたは▶を押します。

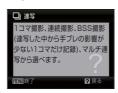
選んだタブのメニューが表示されます。

以下の撮影モードのときは、メニューを表示した後、マルチセレクターの◀を押すとタブを表示できます。

- らくらくオート撮影モード、シーンモード、ベストフェイスモード、動画

ヘルプの表示方法

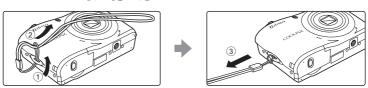
メニュー画面の下に ?/❓ が表示されているときにズームレバーを**T**（❓）方向に回すと、選んでいる項目の説明（ヘルプ）を表示できます。
メニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（❓）方向に回します。

COOLPIX L21

シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、
ピントと露出が固定

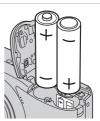
そのまま深く
押し込んで撮影

ストラップの取り付け方

電池を入れる

1　電池/SDカードカバーを開ける

- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2　電池を入れる

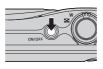
- 電池室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。

3　電池/SDカードカバーを閉じる

使用できる電池について

- アルカリ単3形電池（LR6）（付属の電池）×2本
- リチウム単3形電池（FR6/L91）×2本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）×2本

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源がONになります。電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。電源がOFFになると、電源ランプと液晶モニターの両方が消灯します。

COOLPIX L22

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます（□26）。

電池を取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けてください。

電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□iv～v）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　電池について」（□114）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部が突き出ていて、外装シールが側面にしかない電池

マイナス電極が平らな電池

Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1 とバッテリーチャージャー MH-70/71 をお使いの方へのご注意

このカメラは Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1も使えます。
「取り扱い上のご注意 Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1 とバッテリーチャージャー MH-70/71 をお使いの方へ」（□114）をよくお読みの上、お使いください。

［重要］電池設定について

使用する電池の種類をセットアップメニュー（□85）の［**電池設定**］（□105）で設定すると、電池を効率よく使用できます。

初期設定は［**アルカリ電池**］です。アルカリ電池以外の電池を使うときは、電源をONにしてから電池設定を変更してください。

アルカリ電池の性能について

アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがありますので、信頼できるメーカーの電池をお使いください。

AC電源について

別売のACアダプター EH-65A（□110）を使うと、家庭用コンセント（AC100 V）からCOOLPIX L22/COOLPIX L21へ電源を供給できます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約30秒（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になります。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります（オートパワーオフ機能）。待機状態で液晶モニターが消灯しているとき（電源ランプ点滅中）は、電源スイッチ、シャッターボタン、撮影ボタンまたは再生ボタンを押すと液晶モニターが点灯します。待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□85）の［**オートパワーオフ**］（□99）で変更できます。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

COOLPIX L22

COOLPIX L21

2 マルチセレクターで表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

- マルチセレクターの使い方→□11

3 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

4 ◀または▶を押して自宅のある地域（タイムゾーン）（□91）を選び、Ⓚボタンを押す

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示されます。オフにするときは、▼を押してください。

5 日時を合わせる

- ▲ または ▼ を押してカーソルのある項目を合わせます。
- ▶ を押すと、カーソルは［**年**］→［**月**］→［**日**］→［**時**］→［**分**］→［**年月日**］（日付の表示順）に移動します。
- ◀を押すと、カーソルは前の項目に移動します。

6 ［年月日］の表示順を選び、ⓚボタンまたは▶を押して決定する

- 設定が有効になります。

7 ◘ボタンを押して、表示を終了する

- 撮影モードメニュー画面になります。

8 ［らくらくオート撮影］が表示されたら、ⓚボタンを押す

らくらくオート撮影

- 撮影画面になり、らくらくオート撮影モードで撮影できます（□20）。
- ⓚ ボタンを押す前に ▲ または ▼ を押すと他の撮影モードが選べます。
  他の撮影モードで撮影するときは、「オート撮影モードを使う」（□29）、「シーンモードを使う」（□35）、「ベストフェイスモードを使う」（□46）、「動画を撮影する」（□55）をお読みください。

日時の変更と日付の写し込み

- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（□85）の［**日時設定**］（□89）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**タイムゾーン**］を選んで設定してください（□89、90）。
- 日付を画像に写し込むときは、日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］を設定します（□94）。

SDカードを入れる

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約19 MB）、または市販のSDカード（□110）のどちらかに記録されます。

カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開ける

- 電池/SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。
- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、電池/SDカードカバーを閉めてください。

☑ 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く押し込むと（①）、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください（②）。

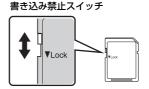
SDカードの初期化

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化（□100）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
初期化するときは、マルチセレクターで［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押します。確認画面が表示されたら、［**初期化する**］を選び、Ⓚボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（□100）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - 電池を取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして（らくらくオート撮影）を選ぶ

（らくらくオート撮影）にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、簡単にシーンに合った撮影ができます（28）。

1　電源スイッチを押して電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。このとき、レンズも繰り出します。
- ご購入時は、らくらくオート撮影モードに設定されています。手順4に進んでください。

COOLPIX L22

COOLPIX L21

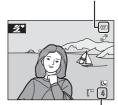
2　ボタンを押して、撮影モードメニューを表示する

3　マルチセレクターの▲▼でを選び、ボタンを押す

- （らくらくオート撮影）モードになります。

4　液晶モニターで電池残量と記録可能コマ数を確認する

電池残量

モニター表示	内容
表示なし	電池残量は充分にあります。
	電池残量が少なくなりました。 電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。電池を交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります（75）。

簡単な撮影と再生—らくらくオート撮影モードを使う

（らくらくオート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影モード
らくらくオート撮影モードのときは、被写体や構図に合わせて、、、、、、またはが表示されます。

モーション検知表示
被写体ブレや手ブレを軽減します。

内蔵メモリー表示
画像を内蔵メモリー（約19 MB）に記録します。SDカードをカメラに入れると、は表示されず、画像をSDカードに記録します。

画像モード
画質（圧縮率）と画像サイズの組み合わせを表示します。初期設定は以下になります。
L22：4000×3000
L21：3264×2448

- 撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（92）。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、電源スイッチ、シャッターボタンまたはボタンを押すと液晶モニターが点灯します（99）。

らくらくオート撮影モードで使える機能について

- 人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせる顔認識撮影ができます（24、28）。
- フラッシュモードは、（発光禁止）にできます（30）。
- セルフタイマー（32）、および露出補正（34）の設定ができます。
- マルチセレクターのマクロモードボタン（11、33）は使えません。クローズアップに判別されるとマクロモードになります。
- MENUボタンを押すと、画像モード（74）を変更できます。

モーション検知について

詳しくは、セットアップメニュー（85）の［**モーション検知**］（96）をご覧ください。

電子式手ブレ補正について

セットアップメニューの［**電子式手ブレ補正**］（95）を［**AUTO**］にすると、フラッシュモード（30）を（発光禁止）または（スローシンクロ）にしたときなどに液晶モニターにが表示されることがあります。が表示されたときは、手ブレしやすい撮影状況になると手ブレの影響を軽減して画像を記録します。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。

2 構図を決める

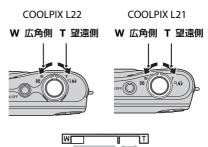
撮影モードアイコン

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（□28）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
- 最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。写したいもの（被写体）をAFエリアに合わせてください。

らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は■になります。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。
被写体を大きく写したいときは**T**方向に回してください。
広い範囲を写したいときは**W**方向に回してください。
ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。
電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□74）や電子ズーム倍率により、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。
このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1　シャッターボタンを半押しする

- 半押しすると（📖13）、カメラがピントを合わせます。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。

顔認識した場合：

顔認識していない場合：

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（📖8）が緑色に点灯します。

- 半押しするとシャッタースピードと絞り値が表示されます。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

画像の記録についてのご注意

液晶モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けないでください。**
画像の記録中にSDカードや電池を取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリア表示やAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、オート撮影モードなどで、同距離にある別の被写体にピントを合わせるフォーカスロック撮影（□29）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、「顔認識機能についてのご注意」（□28）をご覧ください。

［目つぶり確認］画面について

［**目つぶり検出設定**］を［**ON**］にすると、顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します（□102）。

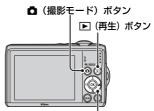
AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□97）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□30）が発光することがあります。

ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

画像を再生する（再生モード）

▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が1コマ表示されます。
- マルチセレクターの ▲▼◀ ▶ で前後の画像を表示できます。▲▼◀ ▶を押し続けると早送りできます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、◘ボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、🄸🄽が表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、🄸🄽は表示されず、SDカードの画像が再生されます。

画像を削除する

1 削除したい画像を表示して🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターで［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んでⓀボタンを押します。

簡単な撮影と再生—らくらくオート撮影モードを使う

再生モードで使える機能

再生モードの1コマ表示中は、以下の機能が使えます。

機能	ボタン	内容	📖
画像を拡大する	**T**（🔍）	最大約10倍までの倍率に拡大します。🆗ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	50
サムネイル表示する	**W**（▦）	4コマ、9コマ、または16コマのサムネイル画像を表示します。16コマ表示で**W**（▦）方向に回すとカレンダー表示になります。	48、49
撮影モードに切り換える	📷	📷ボタンを押します。	10

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。
- 顔認識して撮影した画像（📖24）は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、電源スイッチ、シャッターボタンまたは▶ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します（📖99）。

撮影モードで画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像を削除できます。

複数の画像をまとめて削除する

再生メニュー（📖81）の［**削除**］（📖84）を選ぶと、複数の画像をまとめて削除できます。

らくらくオート撮影モードについて

自動判別するシーンについて

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- オート撮影（一般的な撮影）
- ポートレート（□36）
- 風景（□36）
- 夜景ポートレート（□37）
- 夜景 （□39）
- クローズアップ（□40）
- 逆光（□41）

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
  また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、（オート撮影）モードなどで、同距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□29）をお試しください。

オート撮影モードを使う

（オート撮影）モードではフラッシュモード（30）の変更、セルフタイマー（32）、マクロモード（33）、および露出補正（34）の設定ができます。また、（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押すと、撮影メニュー（72）の機能を、撮影状況に合わせて設定できます。

1 撮影時にボタンを押して、撮影モードメニューを表示する

- 撮影モードメニューが表示されます。

2 マルチセレクターの▲▼でを選び、ボタンを押す

- （オート撮影）モードになります。
- 撮影状況に応じて、フラッシュモード（30）、セルフタイマー（32）、マクロモード（33）、または露出補正（34）を設定します。
- MENU ボタンを押して、撮影メニューの機能を撮影状況に合わせて設定します（72）。

3 構図を決めて撮影する

- 画面中央でピントを合わせます。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。
- シャッターボタンを半押しすると、露出は固定されます。

ピントを合わせたい被写体にカメラを向ける

半押しする

AF エリアが緑色に点灯したら

半押ししたまま構図を変える

そのまま深く押し込む

フラッシュを使う

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

- フラッシュの光が充分に届く距離は、L22は広角側で約0.5～7.0 m、望遠側で約0.5～3.0 m、L21は広角側で約0.5～5.5 m、望遠側で約0.5～2.5 mです。
- らくらくオート撮影モード（□20）では、⚡AUTO［**自動発光**］（初期設定）または⊛［**発光禁止**］を選べます。⚡AUTO［**自動発光**］にすると、自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
- オート撮影モード（□29）または一部のシーンモード（□35）などでは、以下のフラッシュモードを選べます。

⚡AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
⚡◎	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（□31）。
⊛	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。
⚡	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡▣	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定方法

1 マルチセレクターの⚡（フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼を押してモードを選び、OKボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ⚡AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（□92）にかかわらず、⚡AUTOは数秒間で消えます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

⊛（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときの注意
- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
- 液晶モニターに ISO と表示されることがあります。ISO と表示されたときは、ISO 感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。

フラッシュ使用時のご注意
フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込むことがあります。このようなときは、フラッシュを⊛（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

フラッシュランプについて
シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。
- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュモードの設定について
フラッシュモードの初期設定は、撮影モードによって異なります。
- （らくらくオート撮影）：AUTO 自動発光。
- シーン：シーンによって異なります（35～42）。
- （ベストフェイス）：AUTO 自動発光。
- （オート撮影）：AUTO 自動発光。

フラッシュは、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（80）

（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について
このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影の際は、以下にご注意ください。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

オート撮影モードで撮影する

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから約10秒後に、自動的にシャッターがきれます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

1 マルチセレクターの（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼を押して［**ON**］を選び、ボタンを押す

- 10が表示されます。
- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

COOLPIX L22

COOLPIX L21

マクロ（接写）モードを使う

最短約5 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

（らくらくオート撮影）モード（20）では、マクロモードボタンは使えません。

1 マルチセレクターの（マクロモード）を押す

- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼を押して［ON］を選び、ボタンを押す

- マークが表示されます。
- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作してズーム位置を広角側にする

- マークやズーム表示が緑色で表示される広角側のズーム位置でマクロ撮影できます。
- 最も広角側のズーム位置ではレンズ前約5 cmまで、マークのズーム位置ではレンズ前約7 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

オートフォーカスについて

マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

マクロモードの設定について

（オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出を補正する

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 マルチセレクターの☒（露出補正）を押す

- 液晶モニターに露出補正のガイドが表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼を押して補正値を選び、Ⓚボタンを押す

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。
- －2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で補正できます。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターに☒マークと補正値が表示されます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にしてⓀボタンを押してください。

露出補正の設定について

◘（オート撮影）モード（□29）の場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗めに撮影する傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るめに撮影する傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

シーンモードを使う

以下の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。

ポートレート	パーティー	夜景	打ち上げ花火
風景	海・雪	クローズアップ	モノクロコピー
スポーツ	夕焼け	料理	逆光
夜景ポートレート	トワイライト	ミュージアム	パノラマアシスト

シーンモードの設定方法

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でシーンモードを選ぶ

- シーンモードアイコンは前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は（ポートレート）です。

2 ▶を押し、▲▼◀ ▶でシーンを選んでⓀボタンを押す

- 選んだシーンの撮影画面になります。
- 「シーンモードの種類と特徴」→📖36

3 構図を決めて撮影する

画像モードの設定

シーンモードのときにMENUボタンを押すと、［**画像モード**］（📖74）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画を除く）。

シーンモードの種類と特徴

各シーンに記載している⚡はフラッシュモード（□30）、⏲はセルフタイマー（□32）、🌷はマクロモード（□33）、☒は露出補正（□34）の設定です。

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ □24）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

⚡	⚡◎※	⏲	OFF※	🌷	OFF	☒	0.0※

※ 変更できます。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□97）は点灯しません。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	OFF	☒	0.0※

※ 変更できます。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

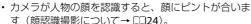
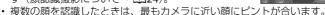
- 画面中央でピントを合わせます。シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、L22 は約 0.9 コマ / 秒で最大 5 コマ、L21 は約 1 コマ / 秒で最大 5 コマまで連写できます（画像モードが L22 は 12M［**4000 × 3000**］、L21 は 8M［**3264 × 2448**］のとき）。
- 画像モードやSDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。
- ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- AF 補助光（□97）は点灯しません。

⚡	⊛	⏲	OFF	🌷	OFF	±	0.0※

※ 変更できます。

夜景ポートレート　[三脚]

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ □24）。

- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

⚡	⚡◎※1	⏲	OFF※2	🌷	OFF	±	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2 変更できます。

[三脚]：[三脚]がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。

フラッシュ	赤目軽減※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※	露出補正	0.0※

※　変更できます。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※　変更できます。

三脚マーク：三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（97）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（97）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

シーンに合わせて撮影する

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（□33）が［**ON**］になり、ズームがマクロ撮影可能な位置に移動します。
- 最も広角側のズーム位置ではレンズ前約 5 cm まで、△マークのズーム位置ではレンズ前約 7 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- 画面中央でピントを合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（□29）。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。

⚡	⊛※	⏲	OFF※	🌷	ON	☒	0.0※

※ 変更できます。フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

料理

料理の撮影に便利です。詳しくは「料理モードを使った撮影方法」（□43）をご覧ください。

- 画面中央でピントを合わせます。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	ON	☒	0.0※

※ 変更できます。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（□78）を使って撮影できます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。
- AF 補助光（□97）は点灯しません。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	OFF※	☒	0.0※

※ 変更できます。

打ち上げ花火

スローシャッターで打ち上げ花火を撮影します。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（8）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（97）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF	マクロ	OFF	露出補正	0.0

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（33）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに撮影できます。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	強制発光	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

パノラマアシスト

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラ マ写真に合成します。詳しくは「パノラマアシストを使った撮影方法」(□44)をご覧ください。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

料理モードを使った撮影方法

料理の撮影に便利です。

1 撮影時に◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターで🍴［料理］を選ぶ（□35）

- マクロモード（□33）が［**ON**］になり、ズームがマクロ撮影可能な位置に移動します。

2 マルチセレクターの▲▼を押して色合いを調整する

- 照明によって被写体の色が変わる影響を調整できます。▲を押すと赤味、▼を押すと青味が増します。

3 構図を決める

- 最も広角側のズーム位置ではレンズ前約 5 cm まで、△マークのズーム位置ではレンズ前約7 cmまでの被写体にピントを合わせられます。
- 画面中央でピントを合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（□29）。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントが固定され、全押しするとシャッターがきれます。
- AFエリアが点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

料理モードについてのご注意

フラッシュは使えません。マクロモード（□33）は［**ON**］に固定されます。

料理モードの色合い調整について

料理モードの色合い調整の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターで⌘［パノラマアシスト］を選ぶ（□35）

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが表示されます。

2 マルチセレクターでパノラマ方向を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 右方向につなげるときは ▷、左方向は ◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に黄色い▷▷マークが移動し、Ⓚ ボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の▷（白色）が表示されます。
- フラッシュモード（□30）、セルフタイマー（□32）、マクロモード（□33）、露出補正（□34）を設定したいときは、ここで設定してください。
- もう一度Ⓚボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、OK ボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画像モード**］（□74）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□99）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。

Panorama Maker について

Panorama Maker は、付属のSoftware Suite（CD-ROM）を使ってパソコンにインストールできます。
撮影した画像をパソコンに転送して（□59）、Panorama Maker でパノラマ写真に合成してください（□63）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□111

ベストフェイスモードを使う

人物の笑顔を検出して、カメラが自動でシャッターをきります。

1 撮影時に◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼で☺を選び、Ⓚボタンを押す

2 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

3 自動的にシャッターがきれる

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- セルフタイマーランプ（□4）は、カメラが人物の顔を認識すると点滅します。シャッターがきれた直後は、速く点滅します。
- シャッターがきれるたびに、カメラは顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

4 ◘ボタンを押してベストフェイスモードを終了する

- 他の撮影モードに切り換えてください。

顔認識と笑顔検出について

ベストフェイスモードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識し、認識した顔の笑顔を検出します。

- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 顔認識について詳しくは、「顔認識撮影」（□24）をご覧ください。

ベストフェイスモードの節電機能について

ベストフェイスモードで、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□99）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

ベストフェイスモードで使える機能について

- フラッシュモード（□30）を変更できます。
- セルフタイマー（□32）、マクロモード（□33）は使えません。
- 露出補正（□34）の設定ができます。
- MENUボタンを押して☺（ベストフェイス）メニューを表示すると、[**画像モード**]（□74）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画を除く）。
- 電子ズームは使えません。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□25

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

再生モードの1コマ表示（📖26）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。サムネイル表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
画像を選ぶ	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。	11
表示コマ数を増やす/カレンダーを表示する	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、4コマ→9コマ→16コマ→カレンダー表示に切り換わります。「カレンダー表示」にすると、撮影日単位で画像の選択を移動できます（📖49）。**T**（🔍）方向に回すと、サムネイル表示に戻ります。	–
表示コマ数を減らす	**T**（🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、16コマ→9コマ→4コマに切り換わります。4コマ表示で**T**（🔍）方向に回すと、1コマ表示に戻ります。	
1コマ表示に戻る	Ⓞ	Ⓞボタンを押します。	26
撮影モードに切り換える	📷	📷ボタンを押します。	10

サムネイルに表示されるマーク

［**プリント指定**］（📖70）や［**プロテクト設定**］（📖106）をした画像の選択中は右のマークが表示されます。動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます。

カレンダー表示

再生モードのサムネイル表示を16コマ表示にした後（📖48）、さらにズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、「カレンダー表示」になります。
撮影日単位で画像の選択を移動できます。撮影画像のある日付には、黄色の下線が表示されます。
カレンダー表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
日付を選ぶ	（マルチセレクター）	マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。	11
1コマ表示に戻る	Ⓚ	選んだ日に最初に撮影した画像の1コマ表示に移動します。	26
サムネイル表示に戻る	**T** （🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回します。	–

✔ カレンダー表示についてのご注意

- 日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で2010年1月1日の画像として扱われます。
- カレンダー表示中に、🗑ボタンおよびMENUボタンは使えません。

画像を拡大表示する

再生モードの1コマ表示（□26）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、画像のどの部分を表示しているかを示しています。

拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	□
拡大倍率を上げる	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。約10倍まで拡大できます。	–
拡大倍率を下げる	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。	–
表示範囲を移動する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押して、表示範囲を移動します。	11
1コマ表示に戻る	OK	OKボタンを押します。	26
画像の一部を切り抜く（トリミング）	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	54
撮影モードに切り換える	◘	◘ボタンを押します。	10

顔認識して撮影した画像の場合

顔認識（□24）して撮影した画像は、再生モードの1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押すと表示する顔が切り換わります。
- さらに**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと、拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

画像を編集する

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（📖111）。

編集の種類	用途
D-ライティング（📖52）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
スモールピクチャー（📖53）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（📖54）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- ［**画像モード**］（📖74）をL22は🅗［**3968×2232**］、L21は🅗［**3200×1800**］にして撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX L22/COOLPIX L21以外で撮影した画像は、COOLPIX L22/COOLPIX L21で編集できません。
- COOLPIX L22/COOLPIX L21以外のデジタルカメラでは、COOLPIX L22/COOLPIX L21で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
D-ライティング	スモールピクチャーまたはトリミングができます。
スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと D-ライティングを組み合わせるときは、D-ライティングを先に行ってください。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（📖70）やプロテクト設定（📖106）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。補正した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□26）またはサムネイル表示（□48）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで 🖼［D-ライティング］を選び、Ⓚボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ［実行］を選び、Ⓚボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- 中止するときは、［**キャンセル**］を選び、Ⓚ ボタンを押します。

- D-ライティングで作成した画像は、再生画面で🖼が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□111

小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。サイズは［**640×480**］、［**320×240**］、または［**160×120**］から選べます。
スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（26）またはサムネイル表示（48）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［**スモールピクチャー**］を選び、OKボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、OKボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→111

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（📖50）中にMENU：✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 再生モードの1コマ表示でズームレバーをT（🔍）方向に回して画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（📖107）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

COOLPIX L22

COOLPIX L21

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（🔍）方向または**W**（⊞）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 マルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。トリミングして画像サイズが320 × 240または160 × 120になった画像は、再生時にグレーの枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの◪または◪のアイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖111

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に📷ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼で🎥を選び、Ⓚボタンを押す

- 記録可能な時間が液晶モニターに表示されます（📖56）。
  1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2 GBまで、または最大29分までです。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。
- 撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

✔ 動画撮影についてのご注意

- シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AFロック）します。撮影中は、そのピントに固定されます。
- 動画撮影を開始すると光学ズームは使えません。電子ズームは動画撮影の開始前は使えませんが、動画撮影中は2倍まで作動します。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（📖114）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

✔ 動画の保存についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで動画の保存は終了していません。電池/SDカードカバーを開けないでください。保存が終了する前にSDカードや電池を取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

🖉 動画撮影で使える機能

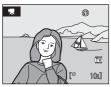
- マクロモード（📖33）を使えます。撮影を開始する前に設定してください。動画撮影中に設定は変更できません。フラッシュやセルフタイマー、露出補正は使えません。
- MENUボタンを押して🎥（動画）メニューを表示すると、［**動画設定**］（動画の種類）を設定できます（📖56）。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画メニューで［**動画設定**］を変更できます。

動画メニューの表示方法

撮影時に◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、🎥（動画）モードにします（□55）。

MENUボタンを押して、動画メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（□11）。
- メニュー表示を終了するには、MENUボタンを押します。

🎥　動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

種類	解像度とフレーム数
TV再生 640（初期設定）	解像度：640×480ピクセル 撮影フレーム数：約30フレーム/秒
カメラ再生 320	解像度：320×240ピクセル 撮影フレーム数：約30フレーム/秒

動画の記録可能時間

種類	内蔵メモリー（約19 MB）	SDカード（4 GB）※
TV再生 640（初期設定）	10秒	約40分
カメラ再生 320	42秒	約2時間45分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2 GBまで、または最大29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□111

動画を再生する

1コマ表示（□26）で動画設定（□56）のアイコンが表示されている画像が動画です。Ⓞボタンを押すと、再生できます。

再生中は、ズームレバー**T**/**W**で音量を調節できます。画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶を押して操作パネルのボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	ボタン		内容
巻き戻し	◀◀		Ⓞボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶		Ⓞボタンを押している間、早送りします。
一時停止	⏸		Ⓞボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。
		◀‖	Ⓞボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		‖▶	Ⓞボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	Ⓞボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■		Ⓞボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

動画ファイルを削除する

1コマ表示（□26）やサムネイル表示（□48）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。
［**はい**］を選んでⓄボタンを押し、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

動画を撮影する／再生する

テレビに接続する

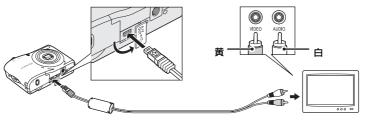
カメラを別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）（□110）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

COOLPIX L22

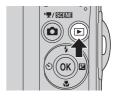
COOLPIX L21

2 カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないときは

［**セットアップ**］メニュー（□85）→［**ビデオ出力**］（□101）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のSoftware Suite CD-ROM を使って、パソコンに「Nikon Transfer」や転送した画像を表示する「ViewNX」、パノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法は、簡単スタートガイドをご覧ください。

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- 32 bit版のWindows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

Mac OS X（version 10.4.11, 10.5.8, 10.6）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

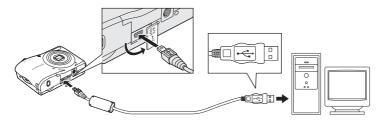
電源についてのご注意

- パソコンと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-65A（110）を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX L22/COOLPIX L21へ電源を供給できます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストール済みのパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源をONにする

- 電源ランプが点灯します。カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

COOLPIX L22

COOLPIX L21

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

5 パソコンでNikon Transferを起動する

- Windows 7の場合：
  ［**デバイスとプリンター ▶L22/L21**］画面が表示されたら、［**画像とビデオのインポート**］の下の［**プログラムの変更**］をクリックします。［**プログラムの変更**］ダイアログで［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
  ［**デバイスとプリンター ▶L22/L21**］画面で［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］をダブルクリックします。
- Windows Vista の場合：
  ［**自動再生**］ダイアログが表示されたら、［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする-Nikon Transfer 使用**］をクリックします。
- Windows XP の場合：
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面が表示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
- Mac OS Xの場合：
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、カメラを接続するとNikon Transferが自動起動します。
- SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transferの起動に時間がかかる場合があります。

6 オプションエリアの［**転送元**］パネル内に、接続したカメラ名のデバイスボタンが表示されていることを確認し、［**転送開始**］ボタンをクリックする

- 記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

- 転送が終わると、ViewNXが自動的に起動します（Nikon Transferの初期設定）。転送した画像を確認できます。

- Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください（□63）。

カメラとパソコンの接続を外すときは

- 転送中は、電源をOFFにしたり、カメラとパソコンの接続を外したりしないでください。
- 接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、パソコンのカードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

- 2 GB 以上のSDカードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSDカードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどにSDカードを挿入し、手順5（□61）以降を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（□108）転送してください。

Nikon TransferまたはViewNXを手動で起動するには

- Windows ：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**すべてのプログラム**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）の順にクリックします。デスクトップの［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。
- Mac OS X ：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**Nikon Software**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）をダブルクリックします。Dock の［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］アイコンをクリックしても起動できます。

Nikon TransferまたはViewNXの詳しい使い方（ヘルプ）を見るには

Nikon TransferまたはViewNXを起動して、メニューバーの［**ヘルプ**］→［**Nikon Transferヘルプ**］または［**ViewNXヘルプ**］を選ぶと、ヘルプ画面を表示して詳しい使い方を見ることができます。

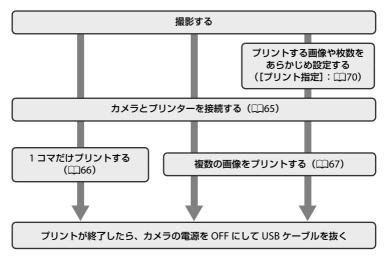
パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（□42）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 5**］→［**Panorama Maker 5**］の順にクリックしてください。
  Macintosh：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 5**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□111

プリンターに接続する

PictBridge（□127）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-65A（□110）を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX L22/COOLPIX L21へ電源を供給できます。EH-65A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（□70）。

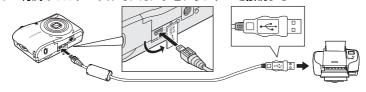
カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

COOLPIX L22　　COOLPIX L21

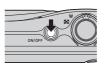
2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

①

②

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□65）、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

- ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［プリント実行］を選び、ⓚボタンを押す

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□65）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、ⓚ ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 用紙サイズを選び、ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］を選んで、ⓚボタンを押す

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- マルチセレクターの◀ ▶を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓚボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓚボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（□70）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

- ［**画像の確認**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

プリントする画像や枚数をSDカードに設定する（プリント指定）

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（□127）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（□127）のプリンターに接続してプリントする（□64）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［プリント指定］を選び、Ⓚボタンを押す

3 ［複数画像選択］を選び、Ⓚボタンを押す

4 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの ◀ ▶ を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。

- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらⓀボタンを押します。

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでⓀボタンを押し、設定を有効にします。

［**プリント指定**］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（□127）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（□68）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定をすべて取り消すには

プリント指定の手順3で［**プリント指定取消**］を選んでⓀボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□94）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□71）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

撮影に関する設定―撮影メニュー

（オート撮影）モード（29）で撮影するときは、以下の撮影メニューを設定できます。

	画像モード	74
	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選びます。他の撮影モードのメニューでも設定できます（動画を除く）。	
WB	**ホワイトバランス**	76
	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	
	連写	78
	連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。	
	ピクチャーカラー	79
	記録する画像の色調を変えます。	

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（80）。

撮影メニューの表示方法

撮影時に◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、◘（オート撮影）モードにします（□29）。

MENUボタンを押して、撮影メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（□11）。
- 撮影メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像モード

(オート撮影)モード(29)に設定 → MENU(撮影メニュー)→ 画像モード

画像モード(画像サイズと圧縮率の組み合わせ)を選びます。画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、プリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像サイズ(ピクセル)	内　容
4000×3000★(L22のみ)	4000×3000	[**4000×3000**]よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
3264×2448★(L21のみ)	3264×2448	[**3264×2448**]よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
4000×3000※(L22のみ)	4000×3000	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
3264×2448※	3264×2448	
2592×1944	2592×1944	
2048×1536	2048×1536	[**4000×3000**]、[**3264×2448**]、[**2592×1944**]よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
1024×768	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
640×480	640×480	電子メールへの添付や、画面比率が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
3968×2232(L22のみ)	3968×2232	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。
3200×1800(L21のみ)	3200×1800	

※　[**4000×3000**]はL22、[**3264×2448**]はL21の初期設定です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます(8、9)。

画像モードの設定について

- 画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画を除く）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□80）

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約19 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4000×3000★（L22のみ）	2コマ	約500コマ	約34×25 cm
3264×2448★（L21のみ）	3コマ	約760コマ	約28×21 cm
4000×3000（L22のみ）	4コマ	約1010コマ	約34×25 cm
3264×2448	6コマ	約1520コマ	約28×21 cm
2592×1944	10コマ	約2410コマ	約22×16 cm
2048×1536	16コマ	約3860コマ	約17×13 cm
1024×768	46コマ	約11000コマ	約9×7 cm
640×480	75コマ	約17700コマ	約5×4 cm
3968×2232（L22のみ）	5コマ	約1370コマ	約34×19 cm
3200×1800（L21のみ）	8コマ	約2110コマ	約27×15 cm

※1 記録可能コマ数が10000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

WB ホワイトバランス

(オート撮影)モード(□29)に設定 ➔ MENU(撮影メニュー)➔ WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の[**オート**]でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO	**オート(初期設定)**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセットマニュアル**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方(□77)」をご覧ください。
	晴天
	晴天の屋外での撮影に適しています。
	電球
	白熱電球の下での撮影に適しています。
	蛍光灯
	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
	曇天
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	フラッシュ
	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます(□8)。[**オート**]のときは何も表示されません。

ホワイトバランスについてのご注意

- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」(□80)
- [**オート**]、[**フラッシュ**]以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを(発光禁止)に設定してください(□30)。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 撮影メニューを表示し（□73）、マルチセレクターで［**ホワイトバランス**］の［**PRE プリセットマニュアル**］を選び、OKボタンを押す

- レンズが望遠側のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでOKボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

測定窓

5 OKボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

連写

> （オート撮影）モード（29）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。
［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］に設定するとフラッシュは発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

連写

シャッターボタンを全押ししている間、L22は約0.9コマ/秒で最大5コマ、L21は約1コマ/秒で最大5コマまで連写できます（画像モードがL22は［**4000×3000**］、L21は［**3264×2448**］のとき）。

BSS（ベストショットセレクター）

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。
シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約24コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。

- 記録される［**画像モード**］は（画像サイズ 2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。
- 電子ズームは使えません。

連写の設定は、撮影時の画面で確認できます（8）。［**単写**］のときは何も表示されません。

連写についてのご注意

- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（80）

BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア（□114）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

ピクチャーカラー

（オート撮影）モード（□29）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

	標準カラー（初期設定）
	自然な色調になります。
VI	**ビビッドカラー**
	はっきりした色調になります。
BW	**白黒**
	白黒写真になります。
SE	**セピア**
	セピア色になります。
C	**クール**
	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。[**標準カラー**] のときは何も表示されません。設定に応じて、画面の色調も変わります。

ピクチャーカラーについてのご注意

この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□80）

同時に設定できない機能

撮影メニューには、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□78）	［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
電子ズーム	連写（□78）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、電子ズームは使えません。
画像モード	連写（□78）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**画像モード**］は5M（画像サイズ2560 × 1920ピクセル）に固定されます。
連写	セルフタイマー（□32）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ホワイトバランス	ピクチャーカラー（□79）	［**白黒**］、［**セピア**］、または［**クール**］にして撮影するときは、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
モーション検知	連写（□78）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。

再生に関する設定—再生メニュー

再生メニューでは、以下の機能が使えます。

	D-ライティング	52
	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	
	プリント指定	70
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	83
	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	84
	画像を削除します。複数の画像をまとめて削除できます。	
	スモールピクチャー	53
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。	

再生メニューの表示方法

ボタンを押して再生モードにします（26）。
MENUボタンを押して、再生メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（11）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

以下のメニューでは、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- 再生メニュー： プリント指定の［**複数画像選択**］（□70）、削除の［**削除画像選択**］（□84）
- セットアップメニュー：オープニング画面の［**撮影した画像**］（□88）、プロテクト設定（□106）、画像回転（□107）、画像コピーの［**選択画像コピー**］（□108）

以下の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀ ▶を押して、画像を選ぶ

- ［**画像回転**］、［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像にチェックマークが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 ⓚボタンを押して画像選択を決定する

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［**開始**］を選び、OK ボタンを押す

- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセレクターの ▶ を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/巻き戻しになります）。
- 再生中にOKボタンを押すと一時停止します。

3 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中に［**終了**］を選び、OK ボタンを押すと再生メニューに戻ります。［**再開**］を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画（□57）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大30分です（□99）。

🗑 削除

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 🗑 削除

画像を削除します。

削除画像選択

画像選択の画面で、画像を選んで削除します。→「画像選択画面の操作方法」（📖82）

全画像削除

すべての画像を削除します。

✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- 🔑 マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません（📖106）。

カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

セットアップメニューで以下の設定ができます。

項目	参照
メニュー切り換え	□87
メニューの表示形式を選べます。	
オープニング画面	□88
カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	
日時設定	□89
内蔵時計を合わせます。	
モニター設定	□92
モニター表示設定、撮影後の画像表示または画面の明るさを設定します。	
デート写し込み	□94
撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	
電子式手ブレ補正	□95
静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。	
モーション検知	□96
静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	
AF補助光	□97
AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	
操作音	□98
操作音について設定します。	
オートパワーオフ	□99
節電のために待機状態に入るまでの時間を設定します。	
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	□100
内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
言語/Language	□101
画面に表示する言語を設定します。	
ビデオ出力	□101
テレビとの接続に必要な設定を行います。	
目つぶり検出設定	□102
顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	
設定クリアー	□103
各種設定を初期設定に戻します。	
電池設定	□105
使用する電池の種類を設定します。	

On	**プロテクト設定**	106
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	画像回転	107
	撮影した画像の向きを変更します。	
	画像コピー	108
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	
Ver.	**バージョン情報**	109
	ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの表示方法

メニュー画面を表示して、（セットアップ）タブを選びます。

1 MENUボタンを押してメニュー画面を表示する

- らくらくオート撮影モード、シーンモード、ベストフェイスモード、動画の場合は、マルチセレクター（11）の◀を押して、タブを表示します。

2 マルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲▼を押してタブを選ぶ

4 ▶または®ボタンを押す

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。
- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（□11）。
- セットアップメニューを終了するには、MENUボタンを押すか、◀を押して他のタブを選びます。

メニュー切り換え

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ メニュー切り換え

メニューの表示形式を選べます。

文字タイプ（初期設定）

メニュー名を一覧表示します。

アイコンタイプ

メニューの全項目を1画面に表示できます。

オープニング画面

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー) (86) ➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。

COOLPIX

オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。

撮影した画像

撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（82）、ボタンを押して登録します。

- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。
- ［**画像モード**］（74）を L22 は ［**3968 × 2232**］、L21 は ［**3200 × 1800**］にして撮影した画像、およびスモールピクチャー（53）やトリミング（54）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

⊕ 日時設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ ⊕ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。

日時

内蔵時計の日付と時刻を設定します。
表示される設定画面で、マルチセレクターを使って設定します。
- 項目（年、月、日、時、分、年月日の並び順）を移動する：◀▶ を押す。
- 項目の内容を合わせる：▲▼ を押す。
- 設定を完了する：年月日の並び順を選んで ® ボタンを押す（□16）。

タイムゾーン

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差（□91）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［**タイムゾーン**］を選び、® ボタンを押す

- ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。

2 ［✈ **訪問先**］を選び、®ボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して、訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするときは、▼を押してください。
- Ⓚボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面にマークが表示されます。

時計用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラに入れる電池とは別の時計用電池で動いています。カメラに電池を入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［**自宅**］を選び、Ⓚボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［**自宅**］を選び、［**訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□94）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン	時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）	–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）	–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）	–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）	–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）	–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）	–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）	–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–13.5	Caracas（カラカス）	–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–13	Manaus（マナウス）	–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）	±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）	+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
–10	Azores（アゾレス）	+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）	+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（86）➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

モニター表示設定

撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。→93

撮影後の画像表示

- ［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。
- ［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

［モニター表示設定］について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

液晶モニターの表示内容については→□8、9

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO（初期設定）	［**情報ON**］と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると［**情報OFF**］と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		
方眼＋情報AUTO	以下の撮影モードで、［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 ・ （らくらくオート撮影） ・ （オート撮影） 他の撮影モードでは、［**情報AUTO**］と同じです。	［**情報AUTO**］と同じです。

DATE デート写し込み

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ DATE デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□71）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

画像に日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

画像に日付と時刻を写し込みます。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（□8）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は、日時を写し込めません。
  - シーンモードの［**パノラマアシスト**］
  - 動画
- ［**画像モード**］（□74）が VGA［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは PC［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（□16、89）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印字が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□70）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

電子式手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(□85) ➔ 電子式手ブレ補正

静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

AUTO

以下の条件がそろうと、静止画の撮影時に電子式手ブレ補正を行い、手ブレの影響を軽減します。
- フラッシュモードが［**発光禁止**］または［**スローシンクロ**］のとき
- シャッタースピードが低速のとき
- ［**連写**］の設定が［**単写**］のとき
- 被写体が暗いとき

OFF（**初期設定**）

電子式手ブレ補正を行いません。

［**AUTO**］に設定すると、撮影画面に が表示されたときに、撮影状況に応じてカメラが補正を行います（□8）。

電子式手ブレ補正についてのご注意

- スローシンクロを除き、フラッシュ使用時は電子式手ブレ補正は作動しません。赤目軽減スローシンクロ（□37、38）のときも作動しません。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、電子式手ブレ補正は作動しません。
- 以下のシーンモードのときは、電子式手ブレ補正は作動しません。
  - スポーツ（□37）
  - 夜景ポートレート（□37）
  - トワイライト（□39）
  - 夜景（□39）
  - ミュージアム（□40）
  - 打ち上げ花火（□41）
  - 逆光（□41）
- 手ブレが大きい場合、電子式手ブレ補正の効果が低くなります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

モーション検知

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（□86）➔ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AUTO（初期設定）

カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。
- フラッシュが発光するとき
- ［**マルチ連写**］（□78）のとき
- 以下のシーンモードのとき：［**夜景ポートレート**］（□37）、［**トワイライト**］（□39）、［**打ち上げ花火**］（□41）、［**逆光**］（□41）

OFF

モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（□21）。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

モーション検知のご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレている場合や、暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（86）➔ AF補助光

AF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO（初期設定）

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約1.9 m、望遠側で約1.1 mです。ただし、［**AUTO**］に設定していても、一部のシーンモードではAF補助光が点灯しません（36 ～ 41）。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

🔊 操作音

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）（📖86）➔ 🔊 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
ただし、以下の場合は、［**ON**］に設定してもシャッター音は鳴りません。

- ［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］で撮影するとき
- シーンモードの［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］で撮影するとき
- 動画のとき

オートパワーオフ

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(□86) ➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラは電池の消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態（□15）に入ります。
待機状態になると、電源ランプが点滅します。何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。
このメニューでは、カメラが待機状態に入るまでの時間を設定できます。

オートパワーオフ

無操作時に、待機状態に入るまでの時間を［**30 秒**］（初期設定）、［**1 分**］、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。

スリープモード

［**ON**］（初期設定）にすると、［**オートパワーオフ**］で設定している時間内でも、被写体の明るさが変化しない状態が続くと待機状態に入ります。［**オートパワーオフ**］が［**1 分**］以下のときは30秒で、［**5 分**］以上のときは1分で待機状態に入ります。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分

待機状態の解除

以下のボタンを押すと、待機状態を解除できます。
- 電源スイッチ
- シャッターボタン
- ボタン
- ボタン

/メモリー/カードの初期化（フォーマット）

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（86）➔
メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをCOOLPIX L22/COOLPIX L21で初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（□86）➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

VIDEO ビデオ出力

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（□86）➔ VIDEO ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。
ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

目つぶり検出設定

MENUボタンを押す ➔ Y(セットアップメニュー)(□86) ➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□24）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- （らくらくオート撮影）モード
- シーンモードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）

ON

顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
→「［**目つぶり確認**］画面の操作方法」（□102）

OFF（初期設定）

目つぶり検出をしません。

［目つぶり確認］画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	ボタン	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	T（Q）	ズームレバーをT（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	W（▦）	ズームレバーをW（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	マルチセレクター	複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に▲▼◀ ▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	OK／シャッターボタン	OKボタンまたはシャッターボタンを押します。

設定クリアー

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□30）	AUTO
セルフタイマー（□32）	OFF
マクロモード（□33）	OFF
露出補正（□34）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□35）	ポートレート
料理モードの色合い調整（□43）	中央

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（□56）	TV 再生640

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（□74）	L22：12M 4000×3000 L21：8M 3264×2448
ホワイトバランス（□76）	オート
連写（□78）	単写
ピクチャーカラー（□79）	標準カラー

セットアップメニュー

項目	初期設定
メニュー切り換え（📖87）	文字タイプ
オープニング画面（📖88）	なし
モニター表示設定（📖92）	情報AUTO
撮影後の画像表示（📖92）	ON
画面の明るさ（📖92）	3
デート写し込み（📖94）	OFF
電子式手ブレ補正（📖95）	OFF
モーション検知（📖96）	AUTO
AF補助光（📖97）	AUTO
設定音（📖98）	ON
シャッター音（📖98）	ON
オートパワーオフ（📖99）	30秒
スリープモード（📖99）	ON
目つぶり検出設定（📖102）	OFF

その他

項目	初期設定
用紙設定（📖66、67）	プリンターの設定

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（📖111）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（📖84）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（📖77）
  セットアップメニュー：
  ［**オープニング画面**］として登録した画像（📖88）、［**日時設定**］（📖89）、［**言語/Language**］（📖101）、［**ビデオ出力**］（📖101）、［**電池設定**］（📖105）

電池設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ 電池設定

バッテリーチェック（□20）を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

アルカリ電池（初期設定）	アルカリ単3形電池（LR6）
COOLPIX（Ni-MH）	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）
リチウム電池	リチウム単3形電池（FR6/L91）

🔑 プロテクト設定

MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップメニュー）（📖86）➔ 🔑 プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。→「画像選択画面の操作方法」（📖82）
ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、📖100）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。
プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時に🔑マーク（📖9、48）が表示されます。

画像回転

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（□82）、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に
90 度回転

時計方向に
90 度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

画像コピー

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 マルチセレクターでコピーする方向を選び、Ⓚボタンを押す

- IN➔SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- SD➔IN：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**選択画像コピー**］：画像選択の画面（□82）で、画像を選んでコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、AVIです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□70）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□106）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➔□111

Ver. バージョン情報

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□86）➔ Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電池	・Ni-MHリチャージャブルバッテリーEN-MH2-B2（2本入り）※1 ・Ni-MHリチャージャブルバッテリーEN-MH2-B4（4本入り）※1
充電器	・バッテリーチャージャー MH-72（Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 2 本付き）※1、2 ・バッテリーチャージャー MH-73（Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 4 本付き）※1、2
ACアダプター	ACアダプター EH-65A※2 ＜EH-65Aの取り付け方＞ ご注意：ACアダプター EH-62Bは使用できません。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※1 EN-MH2は、MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電池を充電しないでください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 以下の容量のSDカードであれば、データ転送速度にかかわらず使用できます。

SanDisk	2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2、32 GB※2
TOSHIBA	2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2、32 GB※2
Panasonic	2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、12 GB※2、16 GB※2、32 GB※2
Lexar	2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2

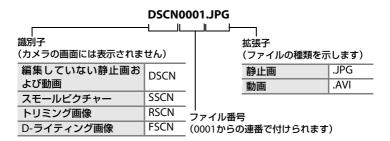
※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。

最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画および動画ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100 NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- パノラマアシストモード（□44）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 画像データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合（□108）、ファイル名は以下のようになります。
  -「選択画像コピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  -「全画像コピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化（□100）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、電池を取り出してください。電池を取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
以下の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ず電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安に電池を入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 電池やACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、電池やACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアについて
明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。この現象は、撮像素子に強い光が入ったときに発生し、「スミア」といいます。撮像素子の特性による現象で故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが現れることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

● 充電池は、撮影前に充電する
別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影前に充電してください。ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。
● リチャージャブルバッテリーの充電について
型番の異なるバッテリー、残量の異なるバッテリーを混用しないでください。
・ EN-MH2 は、専用のバッテリーチャージャー MH-72 で 2 本同時に充電してください。MH-73では、2本または4本同時に充電してください。
・ EN-MH2は、MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。
・ MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電池を充電しないでください。
● Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1とバッテリーチャージャー MH-70/71をお使いの方へ
・ EN-MH1は、MH-70/71以外の充電器では充電しないでください。
・ MH-70/71で EN-MH1以外の充電池を充電しないでください。
・ 電池設定（🕮105）は［**COOLPIX（Ni-MH）**］に設定してください。
● 使用上の注意
・ 長時間お使いになった電池は、発熱していることがあるので、ご注意ください。
・ 電池を取り出すときは、カメラの電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターが消灯していることをご確認ください。
・ 使用推奨期限の過ぎた電池はお使いにならないでください。
・ 残量の無くなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返さないでください。
● 予備電池を用意する
撮影の際は予備の電池をご用意ください。特に海外では、地域によって電池の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。
● 低温時の電池について
電池の一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、電池やカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には残量が充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池をお使いになると、カメラが作動しないことがあります。低温時に撮影するときは、新しい電池かフル充電した充電池を使い、保温した予備の電池を用意して温めながら交互にお使いください。低温下では一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使えることがあります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

● 電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池をカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を示す（電池残量表示が表示されない）ことがありますので、ご注意ください。

● ニッケル水素充電池について

- ニッケル水素充電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（一時的に電池容量が低下したような特性を示す現象）によって、電池残量表示が早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素充電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。お使いになる直前に充電することをおすすめします。

● 充電式電池のリサイクルについて

- 充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

付録

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	89
	電池の残量が少なくなりました。	電池交換の準備をしてください。	14、105
電池残量が ありません	電池の残量がありません。	電池を交換してください。	
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	24、25 29
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	25
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	19
このカードは 使えません カードに異常が あります	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	110 18 18
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、COOLPIX L22/L21用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	19
メモリー残量が ありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	74 26、57、84 18 19

付録

表示	意味	対処法	📖
ⓘ 画像を保存 できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	100
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	18 100
	オープニング画面に登録できない画像です。	以下の画像は登録できません。 ・［**画像モード**］を L22 は ［**3968 × 2232**］、L21 は ［**3200 × 1800**］にして撮影した画像 ・スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが 320 × 240 以下の画像	53、54、74
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	84
ⓘ この画像は編集 できません	編集できない画像を編集しようとしました。	編集可能な条件を確認してください。	51
ⓘ 動画記録 できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	18
ⓘ 撮影画像が ありません	撮影済みの画像がありません。	内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、カメラからSDカードを取り出してください。	108
ⓘ このファイルは 表示できません	COOLPIX L22/L21以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
ⓘ このファイルは 削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	106
ⓘ 自宅と訪問先が 同じタイムゾーン です	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	89
レンズエラー ⓘ	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	20
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルの接続をやり直してください。	65

付録

表示	意味	対処法	📖
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	14、20
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選びⓀボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビが AV ケーブルで接続されています。	20 20 15、24 31 60 58
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	92 112
カメラの電源が突然切れる	• 電池残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。	20 99 114
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に日時未設定マークが点滅している）、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2010/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	16 89
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	92
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	16、89
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • シーンモードが［**パノラマアシスト**］になっているとき • 動画	42 55
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	90

付録

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷 ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	10 12 20 31
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	25 97 20
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 電子式手ブレ補正機能や、モーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	30 95、96 78 5、32
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	30
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • 動画になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］、［**マルチ連写**］または［**BSS**］になっています。	30 35 55 78
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	55

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	• 以下の場合は電子ズームが使えません。 - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］のとき - ベストフェイスモードのとき - 動画の撮影開始前（動画撮影中は 2 倍まで作動） - 撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のとき	36、37 46 55 78
［**画像モード**］が選べない	• 撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のときは、設定できません。	78
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	98 4
AF 補助光が発光しない	• セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。 • 一部のシーンモードでは発光しません。	97 36～42
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	112
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	76
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。	 30
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	30 22 30 34 30、41
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	34
赤目以外の部分が補正された⚡◎	⚡◎（赤目軽減自動発光）や、らくらくオート撮影モード、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外のシーンモードかオート撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	28、30、37

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
D-ライティング、スモールピクチャー、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を L22 は 16:9［**3968 × 2232**］、L21 は 16:9［**3200 × 1800**］にして撮影した画像は、編集できません。 • D-ライティング、スモールピクチャー、トリミングが可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	57 74 51 51
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	101 18
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer については、Nikon Transfer のヘルプをご覧ください。	20 20 60 — —
プリントする画像が表示されない	画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	18
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	66、67

付録

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L22/COOLPIX L21

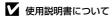
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		COOLPIX L22：12.0メガピクセル COOLPIX L21：8.0メガピクセル
撮像素子		COOLPIX L22： 1/2.3型 原色CCD、総画素数12.39メガピクセル COOLPIX L21： 1/2.5型 原色CCD、総画素数8.29メガピクセル
レンズ		光学3.6倍ズーム、NIKKOR レンズ
	焦点距離	6.7-24.0mm COOLPIX L22： 35mm判換算で37-134mm相当の撮影画角 COOLPIX L21： 35mm判換算で41-145mm相当の撮影画角
	開放F値	f/3.1-6.7
	レンズ構成	6群7枚
電子ズーム		最大4倍 COOLPIX L22： 35mm判換算で約536mm相当の撮影画角 COOLPIX L21： 35mm判換算で約580mm相当の撮影画角
手ブレ補正		電子式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約30 cm～∞（広角側）、約70 cm～∞（望遠側） • マクロモード時は約5 cm ～∞（広角側）
	AFエリア	中央、顔認識
液晶モニター		COOLPIX L22：3型 TFT液晶、約23万ドット、輝度調節機能付き（5段階） COOLPIX L21：2.5型 TFT液晶、約23万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約19 MB）、SDメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 動画：AVI（Motion-JPEG 準拠）

項目	仕様
画像モード（記録画素数）	COOLPIX L22： ・12M（高画質）［**4000 × 3000 ★**］ ・12M［**4000 × 3000**］ ・8M［**3264 × 2448**］ ・5M［**2592 × 1944**］ ・3M［**2048 × 1536**］ ・PC［**1024 × 768**］ ・VGA［**640 × 480**］ ・16:9［**3968 × 2232**］ COOLPIX L21： ・8M（高画質）［**3264 × 2448 ★**］ ・8M［**3264 × 2448**］ ・5M［**2592 × 1944**］ ・3M［**2048 × 1536**］ ・PC［**1024 × 768**］ ・VGA［**640 × 480**］ ・16:9［**3200 × 1800**］
ISO感度（標準出力感度）	オート（ISO 80 ～ 1600）
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍までのとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、 露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
露出連動範囲（オート撮影モード時）	広角側：-0.7 ～ + 16.2 EV 望遠側：1.5 ～ 18.4 EV （ISO感度オート時の連動範囲を、ISO 100のEV値にて換算）
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/2000 ～ 1秒、4秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（-1.7AV）選択方式
制御段数	2（f/3.1、f/5.5［広角側］）
セルフタイマー	約10秒

項目	細目	仕様
内蔵フラッシュ		
	調光範囲	COOLPIX L22：約0.5～7.0 m（広角側）、約0.5～3.0 m（望遠側） COOLPIX L21：約0.5～5.5 m（広角側）、約0.5～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ出力/デジタル端子（USB）
言語		日本語、英語の2言語
電源		• アルカリ単 3 形電池、リチウム単 3 形電池のいずれかを各 2 本 • リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）× 2 本（別売） • AC アダプター EH-65A（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※		COOLPIX L22： • 約 240 コマ（アルカリ電池使用時） • 約 660 コマ（リチウム電池使用時） • 約 420 コマ（EN-MH2 使用時） COOLPIX L21： • 約 280 コマ（アルカリ電池使用時） • 約 780 コマ（リチウム電池使用時） • 約 500 コマ（EN-MH2 使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）		COOLPIX L22：約97.7×60.5×28.3 mm（突起部除く） COOLPIX L21：約92×61.1×28.3 mm（突起部除く）
質量		COOLPIX L22：約183 g（電池、SDメモリーカード含む） COOLPIX L21：約169 g（電池、SDメモリーカード含む）
動作環境		
	使用温度	0 ～ 40 ℃
	使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、アルカリ電池使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。
測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モードL22：12M［**4000×3000**］/L21：8M［**3264×2448**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。
付属の電池はお試し用の電池です。

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

決定ボタン　5、7、11
（撮影モード）ボタン　5、7、10
AE/AF-L　45
W ボタン　4、6、23、27、48、49、50
ボタン　4、6、23、27、48、49、50
T ボタン　4、6、13、23、27、48、49、50
ボタン　4、6、23、27、48、49、50
ボタン　4、6、13
D- ライティング　52
動画　55
ベストフェイスモード　46
露出補正　34
電子式手ブレ補正　95
SCENE シーンモード　35
オート撮影モード　29
再生ボタン　5、7、10
再生モード　26
削除ボタン　5、7、26、27、57
セルフタイマー　32
フラッシュモード　30
マクロモード　33
MENU メニューボタン　5、7、12
らくらくオート撮影モード　20、28
1 コマ表示　26、27
AC アダプター　15、110
AF　24
AF エリア　24
AF 補助光　4、6、25、97
AV ケーブル　58
BSS　78
DPOF　127
DPOF プリント　69
DSCN　111
D- ライティング　51、52
EH-65A　15
EN-MH1　15、114
EN-MH2　14、105、110、114
FSCN　111
ISO 感度　28、31
Nikon Transfer　60
PictBridge　64、127
RSCN　111
SD カード　18、110
SD カードスロット　5、7、18
SD カードの初期化　19、100
SSCN　111
TV 再生　56
USB/ オーディオビデオ出力端子　5、7、58、65
USB ケーブル　59、60
ViewNX　62
.AVI　111
.JPG　111

ア

赤目軽減自動発光　30、31
圧縮率　74
アルカリ電池　14、15
打ち上げ花火　41
海・雪　38
液晶モニター　5、7、8、112
オーディオビデオ /USB ケーブル　58、65
オート撮影モード　29
オートパワーオフ　15、99
オートフォーカス　25、29
オープニング画面　88
音声入力 / 映像入力端子　58
音量　57

カ

拡大表示　50
拡張子　111
画像回転　107
画像コピー　108
画像サイズ　74
画像モード　21、35、74
カメラ再生　56
カメラ接続端子　59
画面の明るさ　92
カレンダー表示　49
逆光　41
強制発光　30
記録可能コマ数　20、75
クール　79
クローズアップ　40
蛍光灯　76
言語 / Language　101
光学ズーム　23

サ

再生　26、27、48、50、57
再生ボタン　5、7、10
再生メニュー　81
再生モード　10
削除　26、27、57、84
撮影　20、22、24
撮影後の画像表示　92
撮影メニュー　72
撮影モードメニュー　10
サマータイム　16、90
サムネイル表示　48
三脚ネジ穴　5、7
シーンモード　35、36
識別子　111
時差　91
自動発光　30
絞り値　24
シャッター音　98
シャッタースピード　24
シャッターボタン　4、6、24
充電式バッテリー　110
初期化　19、100
白黒　79
ズーム　23
ズームレバー　4、6、57
ストラップ　13
ストラップ取り付け部　4、6
スピーカー　4、6
スポーツ　37
スモールピクチャー　53
スライドショー　83
スリープモード　99
スローシンクロ　30
晴天　76
設定音　98
設定クリアー　103
セットアップメニュー　85
セピア　79
セルフタイマー　32
セルフタイマーランプ　4、6、32
操作音　98

タ

タイムゾーン　16、89、91
ダイレクトプリント　64
タブ　12
端子カバー　5、7
単写　78
デート写し込み　94
テレビ　58
電球　76
電源　14、16、20
電源スイッチ　4、6、14、20
電源ランプ　4、6、14、20
電子式手ブレ補正　95
電子ズーム　23
電池　14、90
電池 /SD カードカバー　5、14、18
電池残量　20
電池室　5、7
電池設定　15、105
動画　55
動画再生　57
動画撮影　55
動画設定　56
動画メニュー　56
トリミング　54
トワイライト　39
曇天　76

ナ

内蔵フラッシュ　4、6、30
内蔵メモリー　18
内蔵メモリーの初期化　100
夏時間　16、90
日時設定　16、89
ニッケル水素充電池　14

ハ

バージョン情報　109
パーティー　38
パソコン　59
発光禁止　30
パノラマアシスト　42、44
半押し　13
ピクチャーカラー　79
日付のプリント　71
ビデオ出力　101
ビビッドカラー　79

付録

標準カラー　79
表示ランプ　5、7
ピント　13、24
ファイル名　116
風景　36
フォーカスロック撮影　25、29
フォルダー名　116
フラッシュ　30、31
フラッシュランプ　5、7、31
プリセットマニュアル　77
プリンター　64
プリント　66、67、70
プリント指定　70
プロテクト設定　106
ベストショットセレクター　78
ベストフェイスモード　46
別売アクセサリー　110
ヘルプ　13
ポートレート　36
ホワイトバランス　76

マ

マイク　4
マクロモード　33
マルチセレクター　5、7、11
マルチ連写　78
ミュージアム　40
目つぶり検出設定　102
メニュー切り換え　87
メモリー残量　20
モーション検知　96
モニター設定　92
モニター表示設定　92
モノクロコピー　41

ヤ

夜景　39
夜景ポートレート　37
夕焼け　38
用紙設定　66、67

ラ

らくらくオート撮影モード　20、28
リチウム電池　14
料理　40、43
連写　78
レンズ　4、6、123
露出補正　34

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を以下の当社ホームページでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：
メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：
OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

修理サービスのご案内

インターネットでの修理のお申し込み

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/　※インターネットでの修理のお申し込みの場合、送料割引がございます。

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け･修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の配送料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9：30～18：00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）
※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China
CT9K01(10)
6MM79110-01